

平成28年度 教職員による学校評価			全体					県立島尻特別支援学校		
No	評価の観点	評価項目	回収率(%)					全体(%)	職員数(人)	回収数(人)
			100	100	100	100	85			
			良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答			
1	教育課程	教育課程は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	62	97	17	1	1			
2	年間指導計画	年間指導計画は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	67	105	4	1	1			
3	個別の計画等	個別の計画等は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	78	93	6	0	1			
4	指導体制	幼児児童生徒の実態等に即した指導体制が整っているか。	51	97	26	4	0			
5	保護者との連携	保護者に対して適切で真摯な対応がなされているか。	93	83	2	0	0			
6	人権意識	幼児児童生徒の人権(いじめ防止、個人情報の保護等)を意識した対応や指導がなされているか。	86	88	3	1	0			
7	体力づくり	幼児児童生徒の実態等に即した体力づくりがなされているか。	74	92	10	1	1			
8	教育相談等	校内外の教育相談体制は整っているか。	78	84	3	0	3			
9	生徒指導	幼児児童生徒のみだしなみ、あいさつ、言葉遣い等の指導は適切になされているか。	67	91	16	1	2			
10	進路指導	発達段階に即した進路指導がなされているか。	66	96	8	1	5			

平成28年度 教職員による学校評価			全体					県立島尻特別支援学校			
No	評価の観点	評価項目	良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答				
11	保健室運営	保健室は各学部、部署等との連携を図りながら適切に運営されているか。	86	29	1	0	6				
12	図書室経営	図書室は各学部、部署等との連携を図りながら適切に運営されているか。	123	47	2	0	6				
13	給食室運営	給食室は各学部、部署等との連携を図りながら適切に運営されているか。	88	35	0	1	7				
14	寄宿舎運営	寄宿舎は各学部、部署等との連携を図りながら適切に運営されているか。	105	66	3	0	4				
15	事務室運営	事務室は各学部、部署等との連携を図りながら適切に運営されているか。	111	61	1	1	5				
16	現業部との連携	現業部(バス部、介助員、用務員)と各学部、部署等との連携は図られているか。	93	72	11	3	5				
17	学部間の連携	学部間の連携は図られているか。	55	99	23	2	6				
18	校務・学部分掌	校務・学部分掌は適切で、機能的に運営されているか。	69	103	8	0	5				
19	職員研修	学校の課題や職員の研修ニーズに対応した研修が適切に実施されているか。	60	100	17	2	0				
20	施設・設備	教育活動に必要な施設・設備等は充実しているか。	18	42	72	47	1				

## 学校全体コメント

- ① 回収率97%幼小100%、中学部100%、高等部100%、舎100%他85%)
- ② 20項目中19目が概ね85%以上良いの評価を得ている。施設設備に関しては、やや不十分、不十分と感じている職員が66%となり、昨年を大幅に上回った。
- ③ 保健室、図書室、給食室、寄宿舎、事務室、教育相談等については、高い評価を得ている。また、保護者との連携については、概ね良い評価になっている。
- ④ 児童生徒の実態に即した指導体制、教職員の結果は低いのが、保護者、生徒の評価は高い評価を得ている。高等部は今年度から教科を取り入れた教育課程を編成したが、生徒については昨年に比べ授業が楽しいという結果が20%上回っている。

## 幼小学部コメント

- ① 人数が多いため施設が足りない
- ② 研修が多く感じる

## 中学部コメント

- ① 保健室運営、図書室経営、給食室運営は高評価だった。(良いが60%超)
- ② 指導体制、学部間の連携、職員研修については、やや不十分、不十分の評価が20%超なのは課題である。
- ③ 施設・設備は約70%の職員がやや不十分、不十分の回答だった(理由:教室、備品がたりない、狭くて危険等)

## 高等部コメント

- ① 男性職員が不足している、という声があるので、成長による体格の大きさ、男子生徒数の多さも関係すると思われる。
- ② 多くの職員が、施設・設備が不十分だと感じている。

## 寄宿舎コメント

- ① 静養室がない。

## 事務・現業・養護教諭・栄養教諭等コメント

- ① 保健室、給食室、事務室の各運営については比較的、他学部との連携が図られている。
- ② 生徒、職員数の増に伴い、施設・設備の整備に課題を感じている職員が多い。